

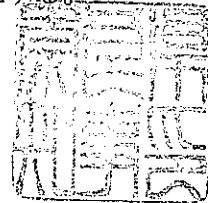
# 産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 埼玉県川口市並木四丁目15番6号

氏 名 大煌工業株式会社  
代表取締役 山下 将弘

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

奈良県知事 荒井正吾



許可の年月日 令和 2年 1月30日

許可の有効年月日 令和 7年 1月29日

## 1. 事業の範囲

事業の区分：積替え保管を含まない

### 取り扱う産業廃棄物の種類

燃え殻(水銀含有ばいじん等を除く)、汚泥(水銀含有ばいじん等を除く)、廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等を除く)、廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く)、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む)、鉋さい(水銀含有ばいじん等を除く)、工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物(石綿含有産業廃棄物を含む)、ばいじん(水銀含有ばいじん等を除く)  
※水銀使用製品産業廃棄物を含む 以上16種類

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとの積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ

該当なし

## 3. 許可の条件

該当なし

## 4. 許可の更新または変更の状況

令和 2年 1月30日 新規許可

5. 積替え許可の有無 無

6. 規則第9条の2第6項の規定による許可証の提出の有無 無

埼玉県川口市並木四丁目15番6号  
大煌工業株式会社 殿

令和 元年12月 3日付けで許可申請のあった産業廃棄物収集運搬業については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の規定により、次のとおり許可します。  
なお、事業の運営にあたっては、下記留意事項に注意して行ってください。

令和 2年 1月30日

奈良県知事 荒井正吾



1. 事業の区分、取り扱う産業廃棄物の種類等

事業の範囲	事業の区分	積替え保管を含まない		
	取り扱う産業廃棄物の種類	燃え殻（水銀含有ばいじん等を除く）、汚泥（水銀含有ばいじん等を除く）、廃油、廃酸（水銀含有ばいじん等を除く）、廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く）、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を含む）、鉦さい（水銀含有ばいじん等を除く）、工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物（石綿含有産業廃棄物を含む）、ばいじん（水銀含有ばいじん等を除く） ※水銀使用製品産業廃棄物を含む 以上16種類		
許可番号	02900198452	許可期限	令和 7年 1月29日	

留意事項

- 1 事業の範囲を変更しようとするときは、事前に連絡のうえ、指示を受けること。
- 2 許可を更新する場合は、許可期限までに更新許可申請を行うこと。
- 3 住所、氏名、役員、車両、車両保管場所等を変更したときは、10日（法人で廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第10条の10第3項第1号又は第2号の規定により登記事項証明書を添付すべき場合にあつては、30日）以内に所定の手続きをすること。
- 4 事業場ごとに帳簿を備え、法に定められた事項について毎月末までに前月分を記載し、1年ごとに閉鎖し、その後5年間は保存すること。
- 5 運搬車両の保管場所は、  
埼玉県草加市柿木町字亀297-2
- 6 運搬車両は、  
横浜130う86、大宮130あ58、大宮130い56、大宮130い57、大宮130い64、大宮130い71、大宮130い84、大宮130え54、大宮130え79、大宮130か47、大宮130か82、大宮130か87、大宮130き53、大宮130き72、大宮130き83、大宮131き66、大宮130く73、大宮131を50、大宮130か63 以上19台

(教示)

- 1 この処分について不服があるときは、行政不服審査法（平成26年法律第68号）に基づき、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に環境大臣に対して審査請求をすることができます。なお、この処分があった日の翌日から起算して1年を経過すると、審査請求をすることができなくなります。
- 2 この処分については、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）に基づき、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に奈良県を被告として処分の取消しの訴えを提起することができます（訴訟において奈良県を代表する者は、奈良県知事となります）。なお、この処分があった日の翌日から起算して1年を経過すると、処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。ただし、この処分について上記1の審査請求をした場合は、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に処分の取消しの訴えを提起することができます。なお、その期間内であってもその裁決があった日の翌日から起算して1年を経過すると、処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。